

「買い物支援事業」スタート!!

住み慣れた地域でいつまでも暮らせるように
地域が連携して展開!!



日向市社会福祉協議会

在宅支援だより

ハートフル

11月号

2015年



子どもから高齢者まで、障がいのある方もそうでない方も、一緒に競技し、汗を流し、大変盛り上がりました。

この大会を通して、障がいへの理解や、地域生活における支え合いのきっかけとなることを願います。



秋空の下、顔晴りました!!



買い物支援事業



東郷地区は高齢化率が43%を超え、ほぼ2人に1人が高齢者となり、また地区の小売店も減少している状況です。そこで東郷支所では、スマイルホーム360、スーパーやまさ、市役所地域振興課と連携し、小売店に代わる「買い物の場」「集いの場」の創出を目的に東郷地区での買い物支援を始めました。

- (1)「買い物をする喜びを感じる場」の創出。
- (2)地域の中に新しい「集いの場」の創出。
- (3)障がい者と地域住民との「交流の場」の創出。
- (4)「障がい者就労支援の場」の創出。



買い物に来られた皆さんにお話を聞いたところ、全ての皆さんから、この活動は必要な活動とのご意見をいただきました。また、販売にあたるスマイルホーム360の利用者の皆さんにも新しい刺激になり、笑顔が増えています。

高齢化への対応は東郷地区だけではなく日向市全体の課題です。

自分の住み慣れた地域の、住み慣れた我が家を終の棲家として生活していくためには、いろいろな社会資源や地域の協力が必要になってきます。

今ある社会資源との共存共栄を図りながら、社会福祉協議会は地域の5年後、10年後の姿を想像し、事業を展開していきます。



新たなふくし教育プログラム

「防災福祉教育」～災害時に私たちにできるふくし～

10月1日(木)、財光寺中学校1年生に対し「防災福祉教育」を実施しました。日向市が大規模な自然災害に襲われた時、中学生として“できること”について講話や体験ワークをとおして学びました。

今回の福祉教育には、現在東郷町に在住で、東日本大震災の経験者である坂本美和さん、防災士ネットワーク(日向・東臼杵支部)の皆様にご協力いただき、プログラムを開催しました。

東日本大震災の経験談を交えた講話や、防災グッズ作製体験を行いました。

プログラム協力者
南相馬と日向をつなぐ会
代表：坂本 美和さん

プログラム協力団体
宮崎県防災士ネットワーク(日向・東臼杵支部)
支部長 豊永 輝生さん

プログラム1 「ふくしって何だろう??」

授業の冒頭には、ふだんのくらしのしあわせ=ふくしについて学びました。

ふくしは、被災時において特に大切なものです。

自分の、家族や友人の、被災者の、「ふだんのくらしのしあわせ」について、中学生にできることを全員で考えました。

財光寺中学校においては、小学校時代に社会福祉協議会の福祉教育プログラムを受講した生徒が多く、小学校からの学びをつなげることができました。



プログラム2 講話「震災と防災とわたし」

講話では、3.11の被災者である坂本さんより、体験談や、被災地の現状について話をしていただきました。

被災の恐怖、避難生活を続ける中で感じた“人の温かさ”、正確な情報を“知ることの大切さ”、当たり前に生活できる“有り難さ”、被災時に感じたことや、南海トラフ巨大地震への危機感など、想いを語っていただきました。



プログラム3 「防災グッズをつくるってみよう」

防災士ネットワークの皆様のご指導の下、日常にある物で防災グッズづくりを体験しました。



みてください、こどもたちの学び…

・坂本さんの話を聞いて、改めて災害の恐ろしさを感じました。今家族と一緒にいれる幸せ、おなかいっぱいのご飯が食べられる幸せに気付いて、とても今が幸せだということが分かりました。

・今回の話を聞いて、もしも～のことを考えるようになりました。もしも津波がきたら…。もしも学校の登校時に地震がきたら…。など考えてみるといっぱい出てきました。

家に帰ってみんなで話し合いました。災害リュックをつくることにしました。一つの工夫でみんなが助かるなら、工夫を重ねて人の役に立ちたいです。

・体験学習では、自分たちにもできることがあるとわかりうれしかったです。

学びを伝える 財光寺中学校文化祭にて発表!!

先日10月18日(日)に行われた財光寺中学校文化祭にて、1年生の皆さんに今回の学びを発表をしていただきました。

体験ワークの内容を模造紙にまとめ掲示したり、ステージの簡易担架の実験やスクリーンに映し出してプレゼンテーションを行いました。

授業での学びや感じた想い、自分たちに“できること”をこれからも実践して、災害に強い財光寺を中学生のチカラで作っていただければと思います。



今後は、防災福祉教育プログラムの確立や、中学生による避難所運営訓練など、地域と連携しながら、防災意識の向上に取り組んでいきます。

地域福祉活動企画進行中

今年度で第3回を迎えた地域福祉人財育成事業「地域福祉リーダー・サポーター養成講座」。講座受講者が講座のかし、地域の”ふだんのくらしをしあわせ”にするために知恵を出し合った「地域福祉活動企画コンテスト」。昨年テストでは、34企画が凌ぎを削り、上位入賞した5つの企画が平成27年度実施の事業となりました。

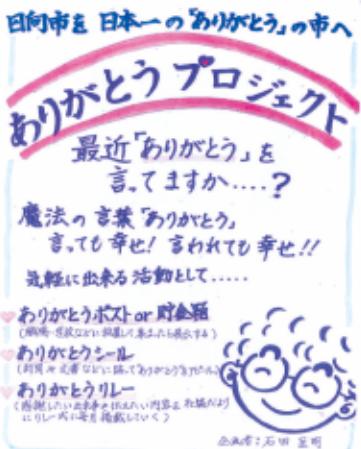
9月号の広報誌で掲載した「ふくし食堂」をはじめ、その他企画も、企画者ならびに応援者とともに数多くの会議進行しております。今回は、そんな5つの企画をご紹介。

ぜひ、私たちと一緒に“ふくし”活動しませんか？ご協力いただける方をお待ちしております。

企画1 ありがとうプロジェクト



ありがとうプロジェクトは、誰にでもできて、人を笑顔にできる魔法の言葉「ありがとう」を地域に広げていこうという取り組みです。
言ってもしあわせ…
言われてもしあわせ…
そんな魔法の言葉「ありがとう」をお互いに言い合いましょう!!



これからの活動

ありがとうポスト&貯金箱の普及
(職場、学校などに設置して、集まつたら展示する)
ありがとうシールの作成
(封筒や文書などに貼って取り組みアピール)
ありがとうリレー
(感謝したいことを社協だよりに掲載し、リレー式に掲載していく)

この活動の目指す先は??

日向市を
日本一の「ありがとう」の市へ

企画2 えんがわ

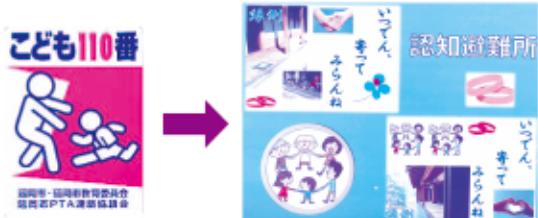
認知症800万人時代と言われる地域社会。認知症への理解や認知症サポーター養成講座の普及など、認知症への関心が高まっている中で、えんがわは、地域で暮らす認知症の方を支えるしくみづくりとして実施します。

具体的には、認知症による散歩(徘徊)があったとしても散歩の寄り道場所として、地域に認知症の方を受け入れてくださる“休憩場所”をつくります。

こども110番のような、専門機関がかけつけるまでの一時休憩場所を地域に点在させ、認知症の方が安心して暮らせる地域づくりを目指します。

これからの活動

- ・にんち避難所110番のようなシールを作成し、各事業所や家庭に貼っていただく
- ・認知症サポーター養成講座修了者へのシール普及協力の依頼。



この活動の目指す先は??

認知症になっても、住み慣れた地域で、その人らしく安心して暮らすことができる地域づくりを目指します。

企画3 気配り・見守り

気配り・見守りご近所
服装にとらわれず、いつ
加できる活動です。

健康ウォークをしなが
をする。簡単な活動で
地域の良さ
人を“知る”
ます。

ぜひ、私たちと一緒に
いきませんか??

これからの活動

11月1日(日) 10:00~12:00
集合場所 目向市総合福祉センター
第1回目を実施しま
ぜひご参加ください!

「気配り、見守り」

新聞、雑誌、服裝にとらわれず、いつでもどこ所
「声掛け」をしながらウォーキングをする。
「地域を歩く・見て・触る」ことを目的にし、ウォー
があります。

日 時： 平成27年11月1日

集合場所： 日向市総合福祉センター

参加料： おにぎり1本
新規登録料： 100円
「おのの隣町たちとのつながりでつながるアソビ」を実現
お手伝い： お手伝い手帳

まずは行動してみませんか??

この活動の目指す先

地域を歩き、地域を見守り、つなぐ
ぐり

お知らせ

第3回 日向市地域福祉活動企画コンテスト

主 催：日向市地域福祉コーディネーター連絡会（通称：おせっ会）

開催日時：平成28年2月20日（土）10:00～12:00

開催場所：日向市総合福祉センター 2階 集会室



各企画への協力者、団体、企業募集中!!

あなたはどんな“ふくし”活動にチャレンジしてみたいですか??



昨年度のファイナリスト
(5つのふくし活動の企画者)

学びを活
度のコン
重ね、

見守りご近所ウォーク

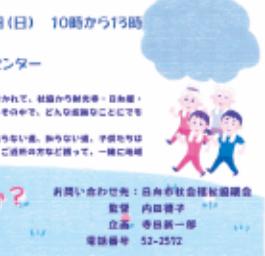
ウォークは、時間、場所、
でもどこでも誰でも参
がら、地域の見守り活動
すが、地域を歩くことで、
に“気付き”、
ことができ

歩き、地域を見守って

00～13:00
市総合福祉センター
す!!
!!

ご近所ウォーク

（例）10時から13時



は??
知る、気付く!!
がりの強い地域づ

平成27年度地域福祉リーダー・サポーター養成講座が、
8月から9月までの2か月間、計3回の講座を経て終了しました。
来年の2月、日向市総合福祉センターにて、講座修了者によ
る「第3回地域福祉活動企画コンテスト」が開催されます。
上位入賞企画は、平成28年度実施する活動として事業化
され、地域で展開されます。新たなふだんの暮らしのしあわ
せ=“ふくし”のカタチが生まれるかも!

おせっ会通信はじめます。

次号から、住民の、住民による、住民の
ための“ふくし”活動応援記事「おせっ会
通信」を毎月連載いたします。

がむしゃら応援団やおせっ会の活動状況、
地域住民のみなさまへのふくし活動のご
案内など、様々な情報をお届けしますので、
ぜひご覧ください。

企画4

じんせい寺小屋

近年、「子どもの貧困」など子どもに関わる
問題が増えてきており、子どもが将来の自分の
姿や希望を描き、夢を語る機会や場所が少な
くなっています。

じんせい寺小屋は、そんな社会を変えるべく、
子どもたちに夢や希望を描くきっかけのできる
場をつくります。

簡潔に言うと…

大人が子どもたちに向けて、様々な人生経
験を語り、子どもたちの将来への関心を高め、
子どもたちと繋がれる場づくりを行います。

失敗したこと

後悔していること

人生のターニングポイント など

子どもたちに向けて、自分の人生を語ってくれるスピーカーを募集しています。

ぜひ、ご協力ください!!



これからの活動

平成28年1～2月に学校にて事業が
展開できるように検討中です。

この活動の目指す先は??

一人でも多くの子どもたちが、
進路や将来の夢を描けるように…
そして、
地域社会の一員として活躍できるように…

企画5



ふくし食堂は、今年8月に1度実施しました。
(詳しくは社協より9月号をご覧ください。)

“集う”ことで生まれる“ふくし”をテーマと
して、子どもからお年寄りまで、多くの方が参
加できる事業です。初めて出逢った方と、とも
に料理し、一緒に食べる。

ふくし食堂から生まれる数々の感動的なドラ
マと一緒に感じませんか??



これからの活動

11月28日(土)

第2回ふくし食堂の開催決定!!

・参加協力者

・食材を提供してくださるという方

募集していますので、ご連絡ください。

ぜひ住んでいる地域で開催したいという方に
ついても活動を応援しますのでご連絡ください。

この活動の目指す先は??

人と人が“つどい”
出逢った方と“つながり”
地域が“繋がって”いく
きっかけになれるよう展開していきます。

おせっ会、がむしゃら応援団、5つ
のふくし活動企画についてのお問合せ
は以下の連絡先までご連絡ください。

地域福祉課 地域支援係

TEL: 52-2572 担当: 三樹

赤い羽根共同募金中間報告

十五夜祭での募金ありがとうございました!

10月10日(土)11日(日)と2日間にわたり開催された日向十五夜祭。会場で述べ113名のボランティアによる街頭募金を行い、92,556円の募金が集まりました。(写真)

11月は、14日(土)15日(日)に行われる産業合同フェスタにて街頭募金を実施します!募金もですが、一緒に活動してくれるボランティアも募集しています!興味のある方は、ぜひお問い合わせください!

11月からは法人募金が始まります!

赤い羽根共同募金では、運動期間中、各世帯にお願いする「戸別募金」やイベント等での「街頭募金」など様々な募金活動を行っております。11月からは市内の企業・商店を訪問し募金のお願いをする「法人募金」を実施します!

歳末たすけあい助成事業申請受付中!!

12月より予定している「歳末たすけあい募金運動」で集まる募金を活用して、歳末から3月までに地域で行われる「助け合い・ふれあい交流活動」などを助成する事業を行います。

実施対象期間	平成27年12月1日～平成28年3月31日
対象内容	(例) 一人暮らし高齢者宅等へのおせち料理の配達、高齢者・障がい者とのクリスマス会、高齢者と子ども等との交流会
助成額	1団体(1区・班)・個人あたり20,000円を上限とする必要経費
申請締切	平成27年11月13日(金)まで

お問い合わせ:日向市共同募金委員会 TEL 52-2572 担当:穴谷、田村



ボランティア・市民活動センター情報

11月号

ボランティア登録しませんか??

ボランティア・市民活動センターでは、「誰かのために力を使いたい」、「自分の特技を活かして人を支えたい」など、想いを持った方にボランティア登録をしていただき、依頼に応じて、活動をご案内しています。

ぜひ、ボランティア登録をしていただき、住民同士の支え合いの仕組みをつくっていきましょう!!

ボランティア個人・団体の紹介します!!

依頼のあったボランティア団体・個人の皆さまを、社協だよりにてご紹介しています。

活動を広めたい方、仲間を集めたい方、ぜひご連絡ください。

*個人の利益につながるような内容については、お断りする場合があります。

11月のボランティア情報

「産業合同フェスタ街頭募金ボランティア」

日 時: 11月14日(土)、15日(日)
12:00～16:00の間の活動可能な時間
場 所: 日向市駅前
内 容: 赤い羽根共同募金街頭募金活動
※上の記事「赤い羽根共同募金中間報告」に記載してある内容と同じものになります。集合場所、時間については、参加希望の方に追って連絡いたします。

「児童交流会スタッフボランティア」

日 時: 11月14日(土)
9:00～16:00
場 所: 大王谷コミュニティセンター
内 容: 会場準備、片づけ、児童との交流など
員: 20名

12月は、あのボランティア企画が帰ってくる!?
次号にて、ボランティアと事業についてご案内します!!



ボランティアについてのお問い合わせは、52-2577 担当:五十川まで

じどうかん・センターだより 11月号

指定管理者として、日向市から管理を受託して事業運営を行っています。

日知屋児童センターからのお知らせ



11月 7日(土) 14:00~15:30

小学生・幼児親子対象「ようこそ!日知屋商店街へ」

児童センターが小さな「商店街」に変わります!駄菓子屋さんにおもちゃ屋さんに文房具屋さん、おもちゃのお金でたくさんお買い物をしよう。参加費無料。



11月28日(土) 14:00~15:30

小学生対象「秋の仲良し遠足」

ひろ〜い公園で思いっきり遊ぼう。遊具遊びやバトミントン、落ち葉集めもいいね!!

持ってくるもの:お弁当、水筒、タオル、帽子



秋空の下、思いっきり遊ぼう!!



大王谷児童館からのお知らせ



11月19日(木) 15:30~16:30

小学生・幼児親子対象「安全教室(避難訓練)」

「地震だー!津波がくるぞー!!」

地震を想定した避難訓練を行います。

自然災害から自分の命を"守る"
チカラをつけよう!!



12月 3日(木) 10:30~11:30

幼児親子対象「読み聞かせ会」

音訳・点訳ひゅうが「虹の会」のみなさんによる読み聞かせ会です。楽しいお話がいっぱい聞けるよ。

お話のあとは、魚釣りやじゃんけんサイコロなどの布のおもちゃで遊びましょ!!



★行事は定員になり次第締切りとなります。必ず事前に各児童館・センターへお申込みください!!



遊戯室の窓からさわやかな風が通り抜けでスポーツの秋らしい気候の中、9月17日に幼児親子対象に「ちびっこ運動会」を大王谷児童館で開催しました。2チームに分かれてはいはいかけっこ、ミニカーに乗ってドライブ、大型ブロックの山を乗り越え、♪ドレミ・・・の音が出るマットを可愛い足で踏んで音を楽しみました。

親子がふれあい、笑顔がいっぱいの有意義な時間が過ごせました。



児童センターまつり楽しがつたよ!!

10月3日(土) 児童館・センター合同企画

「児童センターまつり」を行いました。お天氣にも恵まれ、総勢380名の参加者で大変賑わいました。

この行事はたくさんのボランティアの方々のご協力で成り立っています。今年度は富島高校、日向中学校、富島中学校、財光寺中学校の生徒さんとエルグランの職員の方、総勢47名に協力していただきました。準備から後片づけのほか、来場者の方を精一杯おもてなししてください、大変助かりました。同時にボランティア活動を通して知らない自分を発見したり、楽しんでもらえることに喜びを感じたり、得るものも多かったのではないかでしょうか?子どもたちも楽しみ満足した様子でした。協力してくださったボランティアの皆様有難うございました。

児童館・センターを地域の方々に広く利用していただきたい。ボランティア活動の場として活用していただきたい。児童館・センターはさらなる進化を目指します!!



発見!! 地域人!!

part4 美々津地区

美々津町石並長寿会会长の甲斐政夫さん（80歳）は、日向市高齢者クラブ連合会の会長も務めています。バイタリティ溢れる企画、行動で連合会をブルドーザーのごとく引っ張っています。「元気のもとは、高齢者クラブ活動」と笑って話されます。

今年の日向市健康まつりでは、市高ク連の展示として手作りの「薬草紹介」を行い、会場を訪れた方の関心を集めました。現職時には、教職にあったことから子どもの見守りや地域の文化伝承などにも情熱を傾けています。また、みみつ大学の学級長も務められ向学心が衰えることはありません。

わが国では超高齢社会の進展により、社会保障費の増大が課題となっています。

「支えられる側」から「支える側」になることにより、少しでも社会保障費の増加抑制につながると高齢者クラブ活動に奔走しています。「連合会の会長の仕事は、とても楽しい。誰にも譲る気はない。」といいながら「会長になりたい方があればすぐに譲ります。」と、役員になり手がなく高齢者クラブが解散している実情を冗談交じりに嘆きます。これまでの経験や知識を地域に還元していくことは、高齢者の務めとメラメラと情熱を燃やされています。



日向市社会福祉協議会 福祉賛助会費のお礼

企業や団体の皆さんに福祉賛助会員として協力していただいております。

平成27年9月分 (協力順)

(株)創建	様
学校法人財光寺学園	様
社会福祉法人比良山福祉会	様
(株)アップス	様
(有)クリーン日向	様
杉本建設(株)	様
坂本建設(株)	様

これからも福祉賛助会員を募集してまいります。
詳しくは、総務課総務係までお問い合わせ下さい。

香典返し・一般寄付ありがとうございました。

〈香典返し〉敬称略

平成27年9月分

喪主(または寄付者)	故人	地区
桑原直子	桑原ミツノ	松原
松木喜美子	松木正遠	北町2
渡邊義久	渡邊千義	落鹿
岩木幾代	斎藤玲子	比良
阿部清光	阿部昭夫	川路
白川静雄	白川マサ子	幸脇
小林二幸	小林サヨ子	福瀬
山本アサオ	山本正見	奥野
岩本香代子	岩本義信	福瀬
寺田久俊	寺田富子	鶴野内
甲斐トクエ	是則富夫	余瀬
黒木教明	黒木アキ子	永江
石垣きよ子	石垣儀三郎	公園通り
児玉龍典	児玉弘子	北町2
大塚イツ子	大塚高	坪谷

〈一般寄付金〉敬称略

平成27年9月分

氏名・団体名
花柳流 白扇会 花柳 絹太
株式会社 コーソク

社協日記

10月から大王谷コミュニティセンターで「認知症にやさしい図書館づくり」プログラムが始まりました。センターにおいて、図書館機能に加え認知症への理解を深めるプログラムを実施することにより、認知症の方や家族の方などが気軽に相談しやすい環境づくり等を目指すものです。

超高齢社会の進展により、認知症の方は年々増加していくと推測されており、団塊の世代が全て75歳以上となる2025年（平成37年）には700万人を超すと推計されています。コミュニティカフェなどの開設により、認知症に対する認識は深まってきたましたが、まだ十分とは言えない状況です。

平成25年9月から10月にかけて、公益社団法人「認知症の人と家族の会」が会員にアンケート調査を実施しています。認知症を疑いながら医療機関に受診するまで平均で9ヶ月半かかっていることが分かりました。どんな病気でも「早期診断・早期対応」が大事であることは言うまでもありません。治療が遅れると病状が進行するのは認知症も同じです。

今回のプログラムには、医師等の認知症専門機関による心配ごと相談や認知症サポーター養成講座等も計画されています。認知症にやさしい図書館づくりによって認知症の早期治療等につながり、さらに認知症への理解が深まることにより、誰もが安心して暮らせるまちになることを期待しています。

(ひこびー)

【発行者】

社会福祉法人

日向市社会福祉協議会

[日向市ボランティア・市民活動センター]



ひまたん [日向本所]

〒883-0034 日向市大字富高207-3

日向市総合福祉センター

TEL(0982)52-2572/FAX(0982)52-9562

ホームページアドレス <http://hyuga-shakyo.or.jp/>

Eメールアドレス hyuga207@eagle.ocn.ne.jp

〔東郷支所〕

〒883-0102 日向市東郷町山陰丙1265-2

日向市東郷地区総合福祉センター

TEL(0982)69-2116/FAX(0982)69-2274

この情報誌は市民の皆様からいただいた社協一般会員会費で作られています。



この情報誌は再生紙を利用しています。

印刷所 有限会社 第一印刷